

YOU-I FUKUI GUIDE BOOK

Vol.119 2017 Jan.

学びの道しるべ



いのち
「生命を抱いて」北莊かおる

巻頭言 多様性(ダイバーシティ)が当たり前である社会へ	
福井県生活学習館 館長 白崎和子	1
平成28年度 福井ライフ・アカデミー講座レポート	3
生涯学習推進期間	6
平成28年度ゆー・あいカレッジ講座レポート	7

福井県生活学習館 (ユー・アイ ふくい)
〒918-8135 福井市下六条町 14-1
TEL.0776-41-4200(代) FAX.0776-41-4201

多様性（ダイバーシティ）が 当たり前である社会へ

福井県生活学習館

館長 白崎和子

—普通の人になってください—

小学校卒業の日、サイン帳に書かれたある恩師の言葉。贈り主は、小学1、2年時の担任。

「普通の人」ってどんな人のことだろう？」「私は“普通の人”ではないというのか？」「そもそもこれは、巢立ちゆく教え子に対するはなむけの言葉なのか？」

不満げな私に父は、「きっと、もっと深い意味があるんだろう。それに、普通って、すごく難しいこと。」と慰めとも励ましともつかない言葉を添えた。…ますます意味不明…。子どもながらに多数の「？」に見舞われ、故に、50年近く経った今でも鮮明に覚えている。

昨年4月、女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）が施行され、各企業や機関での、“女性が働き続けやすい職場づくり”への取り組みが加速している。この「女性が男性と同じように活躍できる企業・社会」を表す言葉として、「ダイバーシティ（多様性）」が使われることが少なくない。だが、ダイバーシティの本来の意味は、女性・男性という性別だけでなく、年齢、学歴、考え方や価値観、障がいの有無なども含め、多様な人材がそれぞれの個性を活かし能力を発揮できるような組織や社会をつくるという考え方である。

昨年7月26日、神奈川県相模原市の障害者支援施設で、重度の障がいがある入所者が多数殺傷されるという痛ましい事件が起きた。

容疑者が措置入院となっていたことや犯行を予告していたことなどから、事件を防げる機会は何度もあったと言えるのに、多数の犠牲を防げなかった。惨劇を繰り返さないためにも、事件はしっかりと検証されなければならない。

ただ、あの事件は、もうひとつ別の問題を社会で顕在化させた。それは、容疑者の論理として報道された『重度の障がい者は、生きる価値がない人間である。社会から消し去った方が本人のためでもあり社会のためでもある』という考え方に同調できると思う人が少なくないという現実。しかも、特殊な価値観を持つごく一部の人たちではなく、毎日を懸命に生きている、市井の善良な人々であること。

重度の障がい者であっても、生まれてきた意味があり、生きる権利があり、人生の喜びを感じる心があり、周囲に幸せをもたらす力があるのに。

政府は、訪日外国人旅行者数を2020年に4000万人、2030年に6000万人に伸ばすという目標を示している。日本が、何度も訪れたい国となるには、昭和の高度成長期、初めて海外旅行に出た日本人が、訪れた国々で数々の迷惑行為を及ぼしたことを振り返り、迷惑行為を及ぼす外国人を排除の論理で切り捨てるのではなく、根気よく日本のマナーを理解してもらおう努力を続けることが必要であり、そのことは、日本人をも成長させる。

3年後の2020年、東京でオリンピックが開催され、続けて、世界最高峰の障がい者スポーツ大会とされるパラリンピックが開催される。2012年のロンドンパラリンピックでは、史上最も多い観客が競技を観戦

し、声援を送った。昨年のリオデジャネイロパラリンピックにおいても、ブラジル国民は、選手のハンディキャップの有無よりも、純粋にスポーツとしての高い競技性に熱狂し、大きな盛り上がりを見せた。

果たして東京は、日本はどうか？「おもてなし」文化をアピールして誘致を成功させた東京オリンピックとパラリンピック。「根拠のない同情」からではなく、極限まで自身を高めたアスリートのパフォーマンスを純粋に楽しんで選手と一体となって熱狂することができるか。レガシーとして残すべきは、高額な予算を投じて建設するいくつものスポーツ施設よりもまず、偏見や固定観念、同情などが取り払われた心のバリアフリーであるべきだろう。

同じことが、私たちの福井県にも当てはまる。来年10月に、第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）に続いて、第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）が開催される。障害者スポーツ大会は、障がいのある人たちの社会参加の推進や、国民の障がいに対する理解促進という意味合いもあるため、競技性のみを追い求めるものではないが、それでも国体が開催された会場で行われることなど、国体との関係性では、オリンピックとパラリンピックのそれに似ている。

福井しあわせ元気大会の各競技会場が、関係者や動員された観客だけでなく、自由な意思で観戦する県民で埋まり、心からの拍手を送る情景が見られたなら、国体で天皇杯を獲得するにも匹敵する快挙ではないか。

もう一度、恩師の言葉を振り返ってみる。「立派になれなくても普通でいい」という優しさからの言葉なのか。だが、普通の人とはどんな人を指すのか。

人はもともと一人ひとり違うもの。ひとりとして同じ人間などいないし、違うことが当たり前。言い換えれば、誰もが生まれながらにして普通なのだとと言えるだろう。ある点を捉えての多数派であろうが少数派であろうが、そんなことは関係ないのだ。だから、普通がいい、普通でいいなどと思わなくていいのではないかな。贈り主の心を理解し切れていないのかも知れないが、今の私には、そう思えてならない。

性別、年齢、職業、出自、考え方や価値観、障がいの有無、性的指向、人種や国籍、宗教、コミュニケーションの方法…。多様であることが当たり前で、どんな人も差別されることのない、だれにとっても生きやすい未来社会の実現に向け、みんなが心をつなげて行動することを心から願う。21世紀こそは、多様性（ダイバーシティ）を認める人間の努力が結実する世紀であって欲しい。

福井県生活学習館（ユウ・アイふくい）は、全ての皆様に愛され、親しまれる施設となれるよう、今年も努力を続けてまいります。

ご指導、ご支援をお願い申し上げます。



「花いろいろ」北荘かおる

平成 28 年度 福井ライフ



中国の古代文字を研究し、壮大な文字学の体系を確立した知の巨人・白川静博士が亡くなられてから今年で10年。福井県内の各施設で没後10年記念事業が行われました。

ユー・アイふくいでも、福井ライフ・アカデミーの中で、書や漢字に関する講座を開催しました。また、「集まれ！わたしの漢字展」として児童・生徒による「わたしの漢字」展、高校書道部による「大書作品」展も行いました。

学びの楽しさ
再発見！

学びチャレンジ講座

芸術

「書と人生 ～『今』を楽しむ双雲流哲学～」

講師／書道家 武田 双雲

10/9
(日)

海外に出品する作品に越前和紙を使っていることや、白川静博士を敬愛していること等、福井には縁が深いという話から始まり、トラブルもポジティブに受け入れて歩いてこられた半生を語られました。書と人生にまつわる様々なエピソードを、講師の感性に裏打ちされた魅力的な哲学を通して、分かりやすく楽しくお話しいただきました。



受講者コメント

- ・ 仕事でいろいろな思いがあって悩んでいたが、心が明るくなり、一歩進める気がした。
- ・ 書道を習いたいと思っていたときでもあり、行動に移す決心をした。
- ・ 双雲氏の美しくダイナミックな書の秘密がのぞけた気がした。深く、感動的な内容だった。

希望と活力あふれる
ふるさとづくり！

ふるさと未来講座

戦略

「日本語における漢字の役割」

講師／言語学者・杏林大学外国語学部 教授 金田一 秀穂

10/25
(火)

「同音語を区別することができる」「意味を細かく分析的に表現することができる」「難しい言葉でも見て意味を理解することができる」といった漢字の優れた機能について、日常生活での具体例を挙げながら、ユーモアたっぷりに分かりやすくお話しいただきました。漢字についての理解を深め、関心を高める貴重な機会となりました。



受講者コメント

- ・ 今まで気にしないで使っていた漢字の重要性がよく分かった。
- ・ 日本語にとってなぜ漢字が必要なのか、その理由がよく分かった。
- ・ 子どもに漢字の大切さを教えたい。

児童・生徒による「わたしの漢字」展



高校書道部による「大書作品」展



アカデミー講座レポート



「ふるさとカ」サポート講座

第2期



「ふるさとの魅力発見の視点」や「組織づくりと仲間づくりのポイント」など、地域づくりと人づくりのノウハウを学ぶ全5回の講座を開催しました。

講師/全5回共通：福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一

第1回 11/5 (土)

地域再生のヒントをさぐる
—地域を把握する力、活動(事業)を考えるカー—

地域内外の方々とともに「地域の光を見つけ」「地域への誇りと愛着を醸成し」「住んでよし、訪れてよしという地域を作り上げていく」重要性やポイントを学びました。



第2回 11/12 (土)

企画立案に必要な知識・スキル
—プランをつくるカー—

地域の現状を把握・分析する手法や課題を解決するための論理的な考え方などを学びました。経営学を取り入れた地域づくりのノウハウも示してくださいました。



第3回 第4回 11/26 (土)

フィールドワークと活性化策の検討1
—福井市東郷地区—
講師：東郷ふるさとおこし協議会 会長 平本 秀信

東郷地区でフィールドワークを行い、続けてワークショップとして活性化策を検討しました。活発な議論が交わされました。



第5回 12/3 (土)

活性化策の検討2

数多くの活性化策が提案され、課題なども指摘し合いながら熱のこもった話し合いがなされました。



受講者コメント

- ・地域によってまちづくりの課題は異なるが、活性化策を考える手法としてSWOT分析やKJ法、ブレインストーミングなどの手法を学ぶことができたのは収穫であった。
- ・他地域でがんばっている人々から刺激を受けることで新たな意欲が湧いた。



ゆうあいシアター

DVDや16ミリフィルムなどを活用した上映会を開催しています。

12/10 (土)・12/17 (土)

「シアター動物園」と題して、小学生向けの動物解説作品と迫力の動物ドキュメンタリー作品を上映しました。



次回開催予定

日時

2月23日(木)・25日(土)
両日とも 10:00～11:40 14:00～15:40
全4回、同じ作品を上映します。

作品

ドキュメンタリー映画
「生き抜く 南三陸町 人々の一年」
(制作：MBS 2012年)

巨大な喪失と深い絶望。そして、かすかな「希望の光」被災した地で、「命」を紡ぐ人々の素顔がここにある。
(作品解説より)



理科

「昆虫の色々な話
～分類から文化まで～」

講師／福井大学 教育学部
准教授 保科 英人

10/2
(日)

昆虫の種類の多さや身体的特徴、絶滅が心配される福井の昆虫と保護活動について、たくさんの画像やデータを用いて、分かりやすくお話しいただきました。

受講者コメント

- ・昆虫の色々な話を、子どもと一緒に楽しく聞くことができた。
- ・昆虫の知識がほとんどなかったのに、非常に新鮮な講義だった。
- ・子供の頃に身近にいた昆虫が大変少なくなったと感じており、いろいろ考えさせられた。



「福井で大地震が
起きる可能性はあるのか」

講師／福井工業高等専門学校
教授 岡本 拓夫

10/23
(日)

福井県に存在している活断層の現状とともに、地震が起きる可能性と規模、揺れ具合や被害の様子等についてお話しいただき、現在の科学で対応できることや避難の重要性等について学びました。

受講者コメント

- ・福井の断層について理解が深まり、地震の基礎知識も得ることができた。
- ・地震予知が難しいこと、日頃の備えがいかに大事かということがよく分かった。



芸術

「小筆（筆ペン）で
百人一首を書いてみよう」

講師／福井県教育庁生涯学習・文化財課 企画主査
(公財)独立書人団 会員 小谷 寛幸

11/30
(水)

書に関する基礎から応用的な事項まで楽しく学び、作品を仕上げました。小筆の使い方や文字のバランスのとり方等のポイントが具体的に伝授され、参加者はめきめき上達したようでした。

受講者コメント

- ・短時間にも関わらず、テキパキと進んで、達成感もあった。
- ・楽しいトークもあり、分かりやすく、大変勉強になった。
- ・日常の中に筆を使う時間を少しでもいいので取り入れたいと思った。



産業

「レディース登山パンツ
TOZANGOができるまで！
～テキスタイルメーカーだからこその製品事業～」

講師／ケイテック・テクシーノ株式会社
素材技術室長 兼 企画室長 兼 TOZANGOグループ長
川崎 樹一郎

11/23
(水)

レディース登山パンツの開発から販売に至る経緯や今後の展望などを試着も交えてお話しいただきました。「オール福井」で企業連携をする意義を学びました。

受講者コメント

- ・ネット販売であれば、顧客は全国にたくさんいるはず。機能性を第一に考えたこと、登山後の用途も視野に入れたことなどは、とても良い企画だと思った。
- ・オール福井で進めるブランディングの取り組みを頼もしく思った。



「福井7人の工芸サムライ」
～福井にある7つの国指定
伝統的工芸品の若手職人グループ～

講師／「福井7人の工芸サムライ」オーガナイザー
株式会社キッソオ 熊本 雄馬
ファニチャーホリック 代表 山口 祐弘

11/30
(水)

国指定伝統的工芸品に取り組む県内の若手職人たちがグループを発足させるに至った経緯や伝統技術を活かした現代的・個性的な商品の開発、今後の展望などについてお話しいただきました。越前筆筒(たんす)のキャリーバッグが披露され、大変好評でした。

受講者コメント

- ・福井の伝統工芸の動向を知ることができた。熱い思いと良い出会いが大切だと感じた。
- ・若い方たちの斬新な発想に出会うことができ嬉しかった。



「美のまち」
「エキマエモール」をプロデュース
～新たな価値を創造する共同体～

講師／一般社団法人 EKIMAE MALL 代表理事
一般社団法人 美のまち プロデューサー
竹本 祐司

12/4
(日)

福井駅前中心市街地活性化に向けて手がけられ成功に導かれたいくつものプロジェクトについて、その詳細や今後の展望などを分かりやすく熱心にお話しいただきました。

受講者コメント

- ・「美のまち」など駅前商店街の活性化の話題は聞いていたが、その仕組みがよく分かった。
- ・福井駅前が今変わっているということを感じていたが、今日のお話を聞き、こういう方が頑張っているからだということがよく分かった。
- ・“批判ばかりでなく、自分で働きかけていく”、この生き方に大きな感動を覚えた。これは年齢を超えて大切なこと。見習いたい。



生涯学習推進期間 11月8日(火)～11月27日(日)

期間中、ユー・アイふくいと若狭図書学習センターにて、学習グループの活動展、作品展、ステージ発表などが開催されました。

生活学習館 (ユー・アイふくい)



嶺北特別支援学校の作品展



ギャラリーAでの作品展



情報ルームでの作品展



若狭図書学習センター

【ステージ発表】 子どもから大人まで、様々な年代の10団体・個人が、日頃の活動の成果をステージで発表しました。



鼎談



オカリナ演奏



アンサンブル演奏



ダンス

【展 示】 10団体・個人が、学びの成果を作品や写真等で紹介しました。また、センター主催事業で参加者が制作した作品の展示や、市町立図書館連携企画として手作り紙芝居展も行いました。



学習グループ活動展



デコパージュ



スーちゃんのミニタペストリー&布はり絵



名田庄図書館手作り紙芝居

【体験コーナー】 活動展・作品展に関連した体験コーナーを実施し、来館者が生涯学習を楽しみました。



なつかし遊び



布はり絵

平成28年度 ゆー・あい

「ゆー・あいカレッジ」とは、男女共同参画社会づくりと女性の活躍を推進する目的で生活学習館が実施している講座です。

働く女性のキャリアアップ応援コース

女性がさらに一步を踏み出せるよう、方向性を定めるお手伝いをしたり、社会で役立つスキルや情報を学んでいただいたりする講座です。

【キャリアアップ応援講座】

相手に届ける！「しなやか発信力」の磨き方

講師 株式会社 朝6時 代表取締役 池田 千恵

11月16日(水)

「ココロと頭を棚卸し！

何を伝えるべきか優先順位をつけよう」

12月7日(水)

「思いと言葉をつなげよう！

伝わるスキルの身につけ方」

伝わる「型」、言いたいことを整理する方法、意見を伝えて相手を説得する方法、ネガティブな考えをポジティブに変換し思考を変えて相手に発信する方法、時間管理について講義されました。

ペアワークでは、コンプレックスを褒め言葉に言い換える手法を学びました。



【女性の再就職等 チャレンジ支援セミナー】

10月6日(木) あわら市本荘公民館

「ハローワークにおける
女性の就職状況と支援について」

講師 ハローワーク三国
総括職業指導官 前川 正治

「労働保険・社会保険の基礎
「自分らしい働き方の見つけ方」

講師 特定社会保険労務士
村上 千夏子

「ふくい女性活躍支援センターの活用法」

講師 ふくい女性活躍支援センター
就職支援指導員 広瀬 敏一

企業における女性活躍推進コース

企業における女性活躍を推進するために必要な情報やスキルを学ぶ講座です。

【キャリアアカデミー】

女性のためのワンランクアップの仕事術

9月29日(木)、30日(金)

女性の強みを生かしたスタイルでリーダーシップを
身につける！「マネジメントレッスン」

講師 株式会社キャリアエラ 代表取締役
キャリアアドバイザー 藤井 佐和子

10月13日(木)、14日(金)

一步ふみだすスキルとマインドを手に入れる！

「コミュニケーションアップとロジカルトークレッスン」

講師 J-kenshu 代表
ビジョン・人事コンサルタント 内山 瑞穂



リーダーとして求められる資質や意欲の向上を図ることを目的に、セルフマネジメント、チームマネジメント、タイムマネジメントそれぞれの手法をワークも交えて学びました。

より良い人間関係を築くために役立つコミュニケーションの方法や自分の意見を分かりやすく伝える方法(ロジカルトーク)を実践的に学びました。



男女パートナーシップ推進コース

地域や職場で男女共同参画を推進する人材を養成する講座です。また地域や学校等で男女共同参画を学んでいただく講座・研修を実施される場合に講師を派遣します。

【県民活動支援講座】 11月16日(水)

「笑ろてるパパがええやん！イクパパ養成セミナー」
「効率的な業務運営によるワークライフバランスの推進」

講師 NPO法人ファザリングジャパン関西 天野 勉
主催 警察共済組合福井県支部
対象 組合員とその家族、
県民一般

夫婦のパートナーシップや男性の家事参加の重要性、ワークライフバランスを推進する必要性等を内容とする講義でした。



【地域連携講座】 9月2日(金)

「結婚・支え合う家庭づくり」

講師 落語家 はやおき亭 貞九郎
主催 あわら市婦人福祉協議会

男女がお互いを理解し、日々思いやりを持って生活することの大変さ、大切さを落語として演じながら、おもしろ楽しく話されました。



カレッジ講座レポート

全講座の企画と実施を（公財）ふくい女性財団へ委託しています。

次世代育成支援コース

次代を担う若者が、固定的な性別役割分担意識などに捉われない職業選択ができるよう、先輩の体験談を通して考えていただく講座です。

【次世代育成セミナー】

「私が選ぶ私の進路 ～一人ひとりが輝くために～」

男性が多い職業に就いている女性（警察官、消防士、自動車整備士等）、女性が多い職業に就いている男性（保育士、看護師等）で年齢の近い先輩を学校に招き、それぞれの体験を話していただき、生徒の様々な質問にも答えていただきました。

9月27日(火)
丸岡南中学校

講師 大工、消防士
保育士、看護師



10月13日(木)
南条中学校

講師 警察官、消防士
保育士、看護師



10月28日(金)
上中中学校

講師 自動車整備士、消防士
司書、保育士、看護師



11月25日(金)
春江中学校

講師 左官、現場監督
栄養士、トリマー等



【高校生のための「科学・技術者への招待セミナー」】

若者の理工系離れが課題となっている中、進路選択に直面する女子高校生が、理工系分野に進学した場合の職業の選択肢やその後の人生設計などを具体的にイメージできるよう、理工系分野の様々な職業、職種で活躍している方々から、経験談やアドバイスをお聞きしました。

10月18日(火)
三国高校



講演講師 カゴメ(株)
佐々木 恵理加
先輩講師 化学薬品製造会社
研究員
電子部品製造会社
技術員等

11月2日(水)
武生東高校



講演講師 日本マイクロソフト(株)
高橋 純
先輩講師 電子部品製造会社
技術員
工業系試験研究機関
研究員等

男性の家事・育児参画コース

男性も家事や育児に積極的に参加できるよう、子どもとの関わり方や家庭経営のスキルなどを学べる講座です。

【新米パパ・ママ応援講座】 10月15日(土)

「子どもを伸ばす親子カラ～子どもとHAPPY♪になるために～」

講師 NPO法人えほんうた・あそびうた 代表理事 西村 直人
NPO法人ファザーリング・ジャパン中国顧問 福井 正樹

前半は、西村氏による「絵本歌・遊び歌ライブ♪」を親子で楽しみました。子どもたちは、読み聞かせに音楽や体の動きが加わることで、絵本の世界をより深く感じ取っている様子でした。

後半は、福井氏が自身の経験談も交えながら、子どもの自立を促すための両親の関わり方や、子育てに父親が参加する意義などについてお話されました。



【カップル応援講座】 11月3日(木)

「今から考えたい！ハッピーライフ♡プランニング ～自分たちらしさをかなえる方法～」

講師 (株)NIE.Eカレッジ 代表取締役 大石 泉

自分・パートナー・家族にとっての「豊かな暮らし」を実現するために大切な3つの知る（①自分を知る、②相手を知る、③世間を知る）があること、家庭を持ったときのマネープランニングのコツなどを学びました。



福井ライフ・アカデミー主催講座案内

H29年 2・3月に開催する講座の一部をご紹介します

■ 福井県生活学習館 (ユー・アイ ふくい)

日時	2月7日(火) 10:00～11:30	テーマ	「越前国の歴史ー古代北陸道から考えるー」
講座名	ふるさと未来講座「歴史」	講師	福井大学教育学部 教授 門井 直哉
日時	2月10日(金) 14:00～15:30	テーマ	「アニメが地方を救う!? 『聖地巡礼』の経済効果を考える」
講座名	ふるさと未来講座「戦略」	講師	金沢学院大学経営情報学部 准教授 酒井 亨
日時	2月15日(水) 14:00～15:30	講師	大安禅寺 副住職 高橋 玄峰
講座名	ふるさと未来講座「ふるさと体験」	参加費	500円(座禅体験料)
テーマ	「日々是好日 一日一日を味わいましょう」		
日時	2月24日(金) 14:00～15:30	テーマ	「福井ブランドの象徴としての継体天皇」
講座名	ふるさと未来講座「歴史」	講師	大同大学 教授 西崎 雅仁
日時	3月4日(金) 9:00～16:00 (ユー・アイ ふくい発着)	参加費	1,000円(昼食代)
講座名	ふるさと未来講座「ふるさと体験」	対象	小学3年生以上*小学生は保護者同伴
テーマ	「世界農業遺産を目指す 三方五湖の伝統漁法」見学バスツアー	定員	20名*申込みが定員を超えた場合、お子様連れの方から先着順
		申込締切	2月17日(金)*締切後、参加の可否をご連絡します。
日時	3月8日(水) 14:00～15:30	テーマ	「庚申信仰を未来にー健康と諸願成就を祈る 庚申さんー」
講座名	ふるさと未来講座「歴史」	講師	福井民俗の会・若狭路文化研究会 須川 建美
日時	3月28日(火) 14:00～15:30	参加費	400円(材料費)
講座名	ふるさと未来講座「ふるさと体験」	対象	小学生以上
テーマ	「はたおりのしくみを学ぼう!」	定員	30名*申込みが定員を超えた場合、お子様連れの方から先着順
講師	NPO法人まちづくり勝山のみなさん	申込締切	3月15日(水)

■ 若狭図書学習センター

日時	2月5日(日) 13:30～15:00	テーマ	「音楽と数学～音階と数学の不思議な関係～」
講座名	学びチャレンジ講座「算数・数学」	講師	福井県立高志高等学校 教諭 青木 慎恵
日時	2月11日(土) 13:30～15:00	テーマ	「眼もだまされる?ーさまざまな錯視表現とデザイナーー」
講座名	学びチャレンジ講座「芸術」	講師	福井工業大学非常勤講師 芦田 浩之
日時	2月26日(日) 13:30～15:00	テーマ	「くらしとビジネスに生かそう!身近な校正・校閲」
講座名	学びチャレンジ講座「国語」	講師	株式会社ぶれす 執筆編集・校正スタッフ 内田 ふみ子
日時	3月4日(土) 13:30～15:00	テーマ	「光の物理入門」
講座名	学びチャレンジ講座「理科」	講師	福井大学工学部応用物理学科 教授 菊池 彦光

■ お問い合わせ

福井県生活学習館 **ユー・アイ ふくい**
 福井県生涯学習センター
 〒919-8135 福井県福井市下丸東町4-1 TEL.0776-41-4200 代 FAX.0776-41-4201
【施設利用申込専用】
 TEL.0776-41-4203 FAX.0776-41-4210
 E-mail syogai-c@pref.fukui.lg.jp ホームページ <http://www.masabi.pref.fukui.jp/you-i/index.html>

福井県立若狭図書学習センター

〒917-0075 福井県小浜市南川町6-11 TEL.0770-52-2705 FAX.0770-52-2715
 E-mail wakuwaku@angel.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.library-archives.pref.fukui.jp/>



発行 福井ライフ・アカデミー本部 (福井県生涯学習センター) 印刷 社会福祉法人 福授園 神中事業所
 この印刷物は、社会福祉法人福授園が障害のある方の就労を支援する目的で運営している神中事業所印刷部において制作しています。

あらかじめ、
 幸せだったらいいな。

